

盤谷日本人商工会議所ニュース

中小企業支援委員会

社内不正に関するセミナー開催

中小企業支援委員会(松永晃一郎委員長/タイ矢崎コーポレーション)は4月26日、4月度委員会を開催した。今回は、通常の委員会のほか、社内不正に関するセミナーも行われ、タイセコムセキリティ社マネージャーの安齊哲夫氏が、「アジア地域特有の犯罪事情(内部犯行)と犯罪者の心理に基づく対策をテーマに、内

部犯行の具体例や社内不正を防止するために経営者がとるべき行動などについて説明した。

在大阪タイ総領事館 ミッション

JCCを訪問
在大阪タイ総領事館主催のタイ視察団が4月28日、JCCを訪問。

井上毅専務理事が対応した。今回の視察は関西の経済団体を対象に実施されたもの。大阪産業振興機構、関西経済連合会、独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部の代表者らが来訪した。井上専務理事からの最近のタイ経済情勢などの説明後、様々な意見交換が行われた。

FDC委員会 食品安全セミナーの内容検討

FDC委員会(大場清義委員長/豊田通商(泰国))は5月12日、タイ国工業連盟(FIT)食品クラブとの会合を開催。2017年度食品安全セミナーの実施について検討した。

同セミナーは盤谷日本人商工会議所(JCC)とFITが合同で、毎年食品産業の会員企業の人材を対象に開催している。今年度は「未来の健康食と機能食」をテーマに、9月中旬の開催が決まった。詳細は決定後、会員企業に告知する。

コンサルタンの現場から 第107回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタンの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

質素な経営

人・物・金を使い切る

経営を担う際に心がけたいことは、質素な経営ということだ。質素という言葉には、「ぜいたくではなく、つつましくて儉約なこと」という意味があるが、経営ということでは、今ある経営資源を使い切るということだ。

借金をしているという

大抵の企業は、それなりの借金をしている。借金をしているということは、それだけ多くの資産を持っていると

いうことにはならない。借金までして設備や金型を購入しているということだ。ところで、これら購入した資産を真に使い切っているだろうか。設備や金型だけでなく、ドリル1本、ビス1本まで徹底して使い切るということだ。このあたりは借金をしているというものの重さを日頃からどれだけ意識しているかで大きく違ってくる。あるものを365日24時間使い切るという視点を持つことが大切だ。休みの日に工場を回ってみるとどうだろうか。固定資産はお金

を生んでいない。建物は動いていない物のカバリーになっている。その物がなければ、建物は倉庫に使える。外部倉庫を借りているのであれば、その分、キャッシュアウトを抑制できる。人材を活かしているか

人についても同様だ。折角、採用したにもかかわらず、その人の能力が最大限引き出せているだろうか。不得意な分野を担当させて、「あいつはできない」と言っていたり、付加価値を生まない仕事ばかりさせていないだろうか。人材を活かしていないにもかかわらず、「人材不足なので新たに採用」ということになっている企業も多い。

限られた経営資源をいかに使い切るかが経営なのだ。質素な経営というのは、決してケチな経営という意味ではない。今持っている経営資源を徹底して使い切るということなのだ。

いかにうまく使うかを考える
ところで、経営資源をいかにうまく使うかということ、どれだけ考えているだろうか。経営再建をする場合、リストラが行われる。資産リストラ、人のリストラである。使っていない資産を売却することで当面の資金を確保したり、人をリストラすることによって固定費を削減する。しかし、そのような事態に陥る原因は、真に経営資源を使い切れていなかったから。キャッシュを生み出すために、本当に経営資源を使い切っていたらどうか。人の数だけ、知恵が

出せる。皆がそれぞれの立場でアイデアを出して取り組んでいただろうか。また、投資する際に、十分な検討ができていたかどうか。さらにどうすると資産を使い切ることができたらどうか。

経営資源を使い方で経営者の力がわかる

実は、優れた経営者は、人の使い方がうまい。それは、人は知恵出しの宝庫と知っているから。皆が自ら知恵を出し、新たにキャッシュを生み出している企業は活気があり高収益企業になる。逆に、真に人

業は、この企業にいても自分の成長はないという事で優秀な人材は皆転職してしまう。要は、経営資源を使い切れていないかどうかは、経営者の力を表しているということでもあるのだ。真に、キャッシュを生み出すものに投資をし、投資したものを切り切ることが大きなキャッシュを生み出すポイントだ。言い換えれば、ムダなお金の使い方をしていたり、活きた人の使い方ができていない企業には将来は無い。

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉

(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営 常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

タイでの工場建設・増築
お任せください!
タイでの工場建築・増築・設備に経験豊富な日本人が全力でサポート!
提案力かつローコストが強み! 工場内設備・電気設備も一括対応
設計・施工・メンテナンスも一貫して自社社員でフォロー!

おかげさままで30年 オフィスの新設、移転、改装なら
Okamura
Siam Okamura International Co., Ltd.
info@siamokamura.com
私たちオカムラグループはオフィス構築におけるお客様のあらゆる業務をサポートし、デザイン、家具、内装、設備工事、アフターフォローにいたるまで、オフィスづくりのトータルソリューションをご提供いたします。
井上:084-708-0994(バンコク)
津田:089-060-6248(チョンブリー)